

スズキ、インド・グジャラート工場で累計生産 300 万台を達成



スズキ株式会社のインドにおける四輪生産会社スズキ・モーター・グジャラート社(以下、SMG)は、12月4日に累計生産300万台を達成しました。

SMGは2017年2月に生産を開始し、6年11ヵ月で累計300万台を達成しました。これは、スズキの生産拠点としては最速となります。300万台目のモデルは「フロンクス」でした。

SMGは、インド市場向けモデルの生産だけでなく、スズキのグローバル生産拠点として輸出モデルも生産しています。これらのモデルは中南米やアフリカなどに輸出されています。また、2024年度には電気自動車の生産を開始する計画です。

スズキは、市場拡大とカーボンニュートラルへの対応が求められるインドにおいて、四輪車生産事業の更なる効率化を目指し、SMGをマルチ・スズキ・インディア社の子会社としました。インドでは2030年度までに約400万台の生産能力を確保する計画となっています。

●スズキ・モーター・グジャラート社の概要

社名	Suzuki Motor Gujarat Private Limited
工場所在地	グジャラート州ハンサルプール
従業員数	約3,200名(2023年3月末)
生産能力	年間75万台
生産実績(2022年度)	約67.5万台、(参考)SMG+マルチスズキ計 約192万台
稼働時期	A工場 2017年2月、B工場 2019年1月、C工場 2021年4月 輸出向けモデル生産開始 2018年3月
現在の生産モデル	A工場 バレーノ、OEMモデル B工場 スイフト、ディザイア C工場 ディザイア、フロンクス

以上